

平成22年度 決算公告

東京都中野区本町2丁目29番12号
 レオパレス少額短期保険株式会社
 代表取締役 梅田明彦

第1 貸借対照表

貸借対照表

(平成23年3月31日現在)

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金及び預貯金	695,356	保険契約準備金	1,344,785
現金	190	支払準備金	57,887
預貯金	695,165	責任準備金	1,286,898
有価証券	699,512	その他負債	42,380
国債	699,512	未払法人税等	1,688
有形固定資産	4,926	未払金	36,441
建物附属設備	2,004	退職給付引当金	3,188
工具器具備品	2,921	資産除去債務	923
無形固定資産	125,136	その他の負債	139
ソフトウェア	122,196		
ソフトウェア仮勘定	2,940		
代理店貸	78,419	負債の部合計	1,387,165
その他資産	51,481	(純資産の部)	
未収収益	631	資本金	1,000,000
前払費用	101	利益剰余金	△663,738
繰延消費税	6,547	その他利益剰余金	△663,738
開業費	43,324		
その他の資産	876		
供託金	68,593	純資産の部合計	336,261
資産の部合計	1,723,426	負債及び純資産の部合計	1,723,426

第2 損益計算書

損益計算書

(自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)

(単位：千円)

科 目	金 額
経 常 収 益	1,230,911
保 険 料 等 収 入	1,222,971
保 険 料	1,222,971
資 産 運 用 収 益	7,940
利 息 及 び 配 当 金 等 収 入	7,940
経 常 費 用	1,169,809
保 険 金 等 支 払 金	293,962
保 険 金 等	150,935
解 約 返 戻 金	136,490
そ の 他 返 戻 金	2,798
再 保 険 料	3,738
責 任 準 備 金 等 繰 入 額	172,654
支 払 備 金 繰 入 額	30,373
責 任 準 備 金 繰 入 額	142,281
事 業 費	681,529
営 業 費 及 び 一 般 管 理 費	635,997
税 金	5,213
減 価 償 却 費	37,130
退 職 給 付 引 当 金 繰 入 額	3,188
そ の 他 経 常 費 用	21,662
経 常 利 益	61,102
特 別 利 益	4,482
賞 与 引 当 金 戻 入 額	4,480
そ の 他	2
特 別 損 失	109
税 引 前 当 期 純 利 益	65,475
法 人 税 及 び 住 民 税	290
当 期 純 利 益	65,185

第3 個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券…………… 償却原価法（定額法）

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産…………… 定率法

なお、主な耐用年数は以下の通りです。

建物附属設備…………… 3～15年

工具器具備品…………… 5～10年

② 無形固定資産…………… 定額法

なお、ソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

(3) 引当金の計上基準

① 賞与引当金

当事業年度より賞与制度を改定し、賞与支給対象期間と会計期間が一致したため、当事業年度より賞与引当金の計上をしておりません。

② 退職給付引当金

退職給付引当金は、従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。

(4) その他計算書類作成のための基本となる事項

① 繰延資産の処理方法

開業費…………… 開業後5年間で均等償却しております。

② 消費税等の会計処理

営業費及び一般管理費に係る消費税及び地方消費税の会計処理は税込方式によっております。ただし、控除対象外消費税等のうち、固定資産に係るものは、前払費用に計上し、5年間で均等償却しております。

(5) 会計方針の変更

当事業年度より「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号平成20年3月31日）を適用しております。これにより、経常利益は37千円、税引前当期純利益は146千円それぞれ減少しております。

2. 貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産の減価償却累計額…………… 11,342千円

(2) 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務

短期金銭債権…………… 44,835千円

短期金銭債務…………… 7,534千円

3. 損益計算書に関する注記

(1) 関係会社との取引高

営業取引による取引高

代理店手数料…………… 352,990千円

(2) 収益及び費用に関する事項

① 正味収入保険料…………… 1,079,943千円

② 正味支払保険金…………… 150,935千円

③ 利息及び配当金収入の資産源泉別内訳

(a) 国債…………… 6,605千円

(b) 定期預金…………… 1,334千円

4. 株主資本等変動計算書に関する注記

発行済株式総数…………… 10,000株

5. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産の発生主な原因別の内訳

繰延税金資産

退職給付引当金…………… 3,188千円

小計…………… 3,188千円

評価性引当額…………… △3,188千円

合計…………… ー千円

6. 金融商品に関する注記

(1) 金融商品の状況に関する事項

当社は、資金運用については短期的な預金等及び国債に限定しております。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

平成23年3月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位：千円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1) 現金及び預貯金	695,356	695,356	ー
(2) 有価証券			
満期保有目的	699,512	710,560	11,047
(3) 代理店貸	78,419	78,419	ー
(4) 供託金	68,593	69,210	616
(5) 未払金	(36,441)	(36,441)	ー

(注)1. 負債に計上されているものについては、()で示しております。

2. 金融商品の時価の算定方法

(1) 現金及び預貯金のうち、定期預金はすべて3ヶ月以内に満期を迎えるため、帳簿価額にほぼ等しいことから、帳簿価額によっております。

(2) 有価証券および(4) 供託金は、市場価格によっております。

(3) 代理店貸、並びに(5) 未払金は、短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

7. 関連当事者との取引に関する注記

(単位：千円)

属性	会社名	議決権の被 所有割合	関連当事者 との関係	取引内容 (注)	取引金額	科目	期末残高
親会社	㈱レオパ レス21	直接 100%	当社商品 の販売	代理店 手数料	352,990	代理店貸	44,835

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注) 取引条件は、市場実勢を勘案し、交渉の上で決定しています。

8. 1株当たり情報に関する注記

① 1株当たり純資産額…………… 33,626円10銭

② 1株当たり当期純利益…………… 6,518円51銭

9. その他の注記

金額単位は、千円未満を切り捨てております。